

科目区分	研究科目		
授業科目名	衛生学・公衆衛生学		
担当者名	野村 恭子	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	セミナー室
授業形態	実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標			
<p>授業の目的: 公衆衛生学の専門的素養として、医学的な基礎、関連科目の履修の上で統計学、疫学、行動科学、社会医学、政策科学、研究倫理および関連領域について学習することを目的とする。</p> <p>授業の到達目標: 論文の執筆を通じて独立した研究者としての基礎を涵養する。</p> <p>授業の概要: 個別の研究テーマに沿って教員の指導の下、論文の執筆を行う。</p>			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)			
野村 恭子, knomura@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項			
<p>履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。</p> <p>教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。</p> <p>自学自習における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。</p>			

科目区分	研究科目		
授業科目名	法医学		
担当者名	早川 輝	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室, 法医解剖室など
授業形態	その他		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標			
<p>授業の目的: 法医実務を中心に問題意識を持ち、研究テーマを自ら考えて研究を遂行することを目的とする。</p> <p>授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後、学位審査を経て、学位取得を目標とする。</p> <p>授業の概要: 本科目においては、法医解剖症例を通じて死因診断技術の向上に寄与する研究を行うとともに、希望に応じて法医画像診断(CT, パノラマX線撮影装置, 超音波診断装置)に関する研究や、小児虐待にみられる損傷を客観的に証明するための研究などを指導する。</p>			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)			
早川 輝, a.hayakawa@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項			
<p>履修に関する情報</p> <p>※ 実際の法医解剖に関する情報を扱うので、履修者には守秘義務を厳守して頂くことを確約して頂きたい。</p> <p>※ 授業形態は、講義、法医実務の実習等を予定しているが、症例検討会等に参加して頂く場合もある。</p> <p>※ 社会人大学院生など、勤務等で授業に出席できない場合には日程の調整に応じる。なお、履修者には法医解剖(休日・夜間を問わない)に参加して頂く場合もあるので、履修希望者は履修を決める前に上記に相談することが望ましい。</p> <p>※ 履修者の持つ資格・経歴により、研究内容を調整することがある。</p> <p>教科書・参考文献: 研究テーマにより別途指示する。</p> <p>自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。</p>			